

市民参画推進に関する市民会議（2年度 第2回）会議概要

（日程・場所・出席者）

（日 程） 令和3年2月2日（火）14:00～15:05

（場 所） 鹿児島市役所 西別館2階 204会議室

（出席者） 委員11名

（事務局） 市民協働課

（会議の次第・配付資料）

【会次第】

- ① 2年度の市民参画手続の実施状況（中間報告）
- ② 3年度の市民参画手続の実施予定
- ③ その他

【配付資料】

- 資料1 市民参画推進に関する市民会議委員名簿
- 資料2 2年度市民参画手続実施状況一覧表
- 資料3 3年度市民参画手続実施予定一覧表
- 資料4 今後のスケジュール

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
【2年度の市民参画手続の実施状況(中間報告)】	
1	<p>(委員) 今回25の施策がある中で、事務局が説明した施策はどのような基準で選んだのか。</p> <p>(事務局) パブコメを実施して集計が終わっている施策を中心に、本市の最上位計画である次期総合計画や、「特に市民参画手続を実施する必要があると認められるもの」としてパブコメを実施するパートナーシップ制度等を説明した。</p>
2	<p>(委員) 2つの計画について、1つのアンケートで市民参画手続を実施している施策があるが、よくあるケースか。</p> <p>(事務局) 業務委託によって、経費削減等の理由で同時に実施することも有り得る。 ※第三次鹿児島市環境基本計画・第二次鹿児島市地球温暖化対策アクションプランと第二次鹿児島市再生可能エネルギー導入促進行動計画については、CO2の削減という点から、第二次鹿児島市再生可能エネルギー導入促進行動計画は第二次鹿児島市地球温暖化対策アクションプランに包含され、アンケートの設問も類似のものになることから合同で実施したとのこと。</p>
3	<p>(委員) アンケートの無作為抽出や回答についてはどのように設定しているのか。</p> <p>(事務局) 抽出については、年齢層や地域などを各課で設定し、住民基本台帳から抽出する。発送は郵送で、回答方法は郵送の他、オンライン回答などがある。</p>

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
4	<p>(委員) アンケートについて、文化芸術推進基本計画のような施策は、芸術に関して興味がある市民に訊いた方がよい意見が出るのではないかと。</p> <p>(事務局) アンケートは一般市民のニーズを把握するという目的で実施した。興味がある方からの意見の収集はパブコメの段階であると考えている。</p> <p>(会長) 意見を聞く際は一般的に広く薄く聞く手法と、それぞれの事業に深く関わりがある団体等に聞く方法の、二階層のやり方などで可能な限り深めてほしい。</p>
5	<p>(委員) アンケートの結果やパブコメの実施結果が、別の部署で役に立つ情報となることもあると思うので、庁内で情報共有できたらいいのではないかと。教育委員会の方で実施するアンケートにも、設問の中には文化芸術活動についての項目がある。相互にアンケートの内容を協議しあうのはいいか。</p> <p>(事務局) 計画策定のためのアンケートは、政策過程を想定して設問を作成するため汎用的なものになっていない。汎用的なアンケートについては、市民協働課の「まちかどコメンテーター事業」などがあり、コメンテーターにニーズ把握調査などを行うことがあるので、情報共有できる部分もあると考える。</p> <p>(委員・事務局による補足) 文化芸術推進基本計画について、第1期は教育委員会が所管していたが、市民全体の文化振興を推進する必要があるとのことで第2期から市民局の文化振興課が所管している。普段文化芸術に触れていない方は何が理由で触れていないかなど、広い視野で拾い上げていこうという思いで、次の計画を策定している経緯がある。</p>

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
【3年度の市民参画手続の実施予定】	
1	<p>(委員) 市民が参加するようなワークショップ等の市民参画手続は、コロナ禍でほとんど実施できないのではないかと。これからもパブコメと審議会のみでやっていくのか。</p> <p>(事務局) 庁内の各課に対しましては、複数の市民参画手続を実施するように毎年度お願いしている。コロナ禍でワークショップは難しいところがあるが、市としては現在、万全の対策をとって実施するという方向になっている。総合計画のような計画期間が十年のものには、ワークショップで幅広く自由に意見を出してもらおうような市民参画手続が重要である。</p>
2	<p>(委員) 3年度実施予定のパブコメの中で、新市長のマニフェストが反映させている施策はどれくらいあるか。</p> <p>(事務局) 就任後、マニフェストに沿った事業の見直しや予算編成を行ったところである。それぞれの計画は見直した内容や予算に合わせて策定されていくので、マニフェストに関連がある計画についてはそれに沿って策定される予定である。</p>
3	<p>(委員) 関心が薄い施策はパブコメで出される意見が少ない。意見を出してもらうために、施策について事業名と併せて、施策の内容等を分かりやすく情報発信すべきである。</p> <p>(事務局) 委員のご指摘のとおり、市民の関心が少ない施策は意見が少ない。市民協働課としては、計画書を一目でわかる概要版を作るようお願いをしている。概要版を見て施策の理解が進むと思われるので、委員のご意見も含めて、市民に施策がわかりやすく伝えるやり方も、今後検討していきたい。</p> <p>(会長) パブコメの意見数は読めないところもあると思うが、わかりやすい情報発信など、実施主体がコントロールできるような点から取り組んでいただきたい。</p>

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
4	<p>(委員) これまでパブコメで寄せられた意見の中で、施策に反映されたものはどれぐらいあるのか、その中で印象に残っている意見はどのようなものか。</p> <p>(事務局) 平成15年からいただいた意見のうち、9%ほどの意見が反映されている。</p> <p>(会長) 施策に反映された意見の事例で、事務局が印象に残っている意見があれば示していただきたい。</p> <p>(事務局) 昨年度、鹿児島市動物の愛護及び管理に関する条例の素案についてパブコメを実施し、多頭の猫を飼養する場合には、市に届け出を行う規定を設けてほしいというご意見があり、10頭以上の猫を飼養する際の届出を条例に定めた。</p> <p>(会長) 施策に影響を与えたような意見を蓄積していくとよい。</p> <p>(事務局) 今後お示しできるようにしていきたい。</p>
5	<p>(委員) 意見がある人が誰でも意見を言える機会を提供することが重要である。審議会は専門的な知見を持った人がおり、ワークショップは、専門的な知見を持っていない人も意見を出すことができる。資料の記載について、審議会とワークショップを分けて記載する方が良い。</p> <p>(事務局) 委員のご意見のとおりである。表記については、今後分けて記載する。</p>

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
6	<p>(委員) 令和3年度のアンケートについて実施予定がないのか。</p> <p>(事務局) 令和3年度の予算はこれから審議があるので、今のところ不確定である。 ※アンケートは計画策定に向けて実施されることが多く、年によって件数に差が出る。</p>
7	<p>(委員) アンケートの設問の作成については、大学と連携したり、社会調査士等の専門的な知識のある人材を活用したりするなど、丁寧に準備して質のよいものにしなければならない。</p> <p>(会長) どのようにしてアンケートの質を各委託先に求めているか。</p> <p>(事務局) 設問は各課でも考えるが、最終的には業者の意見も聞きつつ、一緒に作り上げる。設問に関しては、入札に係ってくるので仕様書をきちんとつくる必要があると考えている。予算的な面もあるが、制度上大学との連携ができるかなど今後研究する必要がある。</p>
8	<p>(委員) コロナ禍でのワークショップの開催について、オンラインでZOOM等を活用して開催する予定はあるか。</p> <p>(事務局) 鹿児島市役所庁内でも、各局にタブレット端末を設置するようになり、オンライン会議が進められているので、オンラインでのワークショップも出てくるのではないかと思う。</p>

(協議の概要)

委員の意見・質疑等	
【その他】	
1	<p>(委員) 以前、特定の団体にパブコメを送ることはできないと言われたが、総合計画は市政の最上位計画であり、多くの意見を出してもらうために、関係団体等にパブコメを周知して欲しい。</p> <p>(事務局) 所管課にご意見をお伝えする。</p>